

印刷用紙に係る判断の基準等の 見直しに関連する資料等

1. 判断の基準等の変遷について
2. 印刷用紙に関連する統計情報等について

令和5年10月25日

1. 判断の基準等の変遷について

- 第一次環境基本計画（平成6年12月閣議決定）に基づく国の各行政機関共通の実行計画である率先実行計画※1（平成7年6月閣議決定）において、グリーン購入の推進のために「物品調達推奨リスト※2」の策定を検討する旨記載
- 印刷用紙に係る分野別ガイドライン※3（平成10年3月環境庁告示第7号）を策定

※1 国の事業者・消費者としての環境保全に向けた取組の率先実行のための行動計画

※2 物品等の環境負荷の少ない仕様、材質等に関する推奨リスト実施要領

※3 製品分野別に環境への配慮の方針を示したものであり、個別製品リスト（ガイドラインに基づき製品の環境配慮情報を示したもの）において示すべき環境配慮情報の内容を規定するもの

印刷用紙に係る分野別ガイドライン（抜粋）

「物品等の環境負荷の少ない仕様、材質等に関する推奨リスト」

分野別ガイドライン－紙類（印刷用紙）－

3 個別製品リストに記載すべき環境配慮情報

(1) 個別製品リストに記載すべき環境配慮情報

① 微塗工印刷用紙及び塗工印刷用紙については、**古紙配合率50%以上**であること。

なお、古紙配合率については、**平成12年度末を目途に70%以上**とする。

② 非塗工印刷用紙については、**古紙配合率50%以上**であること。

なお、古紙配合率については、**平成12年度末を目途に70%以上**とする。

(2) その他の環境配慮情報

① 市中回収古紙配合率

② 表面塗工の有無及び表面塗工量

③ リサイクルしにくい加工の有無

【以下略】

印刷用紙に係る判断の基準の変遷【1/2】

| 閣議決定 | 判断の基準の概要 | 備考 |
|---------|--|---|
| 平成13年2月 | <ul style="list-style-type: none"> ① 古紙配合率70%以上 ② 非塗工印刷用紙は白色度70%程度以下 ③ 塗工印刷用紙の場合は塗工量が両面で30g/m²以下 ④ 再生利用が困難な加工が施されていない | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「印刷用紙（カラー用紙を除く）」及び「印刷用紙（カラー用紙）」の2品目 ○ カラー用紙は判断の基準②の白色度に係る基準はなし |
| 平成18年2月 | <ul style="list-style-type: none"> ① 古紙パルプ配合率70%以上 ② バージンパルプを原料として使用する場合は合法性の確認が必要 ③ 非塗工印刷用紙は白色度70%程度以下 ④ 塗工印刷用紙は塗工量が両面で30g/m²以下 ⑤ 再生利用が困難な加工が施されていない | <ul style="list-style-type: none"> ○ 2005年7月の英国・グリーンイーグルズサミットにおける違法伐採対策の推進に係る合意（グリーンイーグルズ行動計画）を受けた具体的な対応 |
| 平成22年2月 | <ul style="list-style-type: none"> ① いずれかの要件を満たすこと <ul style="list-style-type: none"> ア. 非塗工印刷用紙は古紙パルプ配合率、森林認証材パルプ利用割合、間伐材パルプ利用割合、その他の持続可能性を目指したパルプの利用割合及び白色度を総合的に評価した総合評価値が80以上 イ. 塗工印刷用紙は古紙パルプ配合率、森林認証材パルプ利用割合、間伐材パルプ利用割合、その他の持続可能性を目指したパルプの利用割合及び塗工量を総合的に評価した総合評価値が80以上 ② バージンパルプを原料として使用する場合は合法性の確認が必要 ③ 総合評価値及びその内訳のウェブサイト等への掲示 ④ 再生利用が困難な加工が施されていない | <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成20年1月に発覚した製紙メーカーの古紙パルプ配合率偽装問題を受けて特定調達品目検討会及び検討会の下に設置した「紙類・印刷分科会」において各指標値の合計で総合評価値を算定する新たな判断の基準を導入 ○ 品目分類を「塗工されていない印刷用紙（非塗工印刷用紙）」及び「塗工されている印刷用紙（塗工印刷用紙）」に変更 ○ 最低保証の古紙パルプ配合率60% |

印刷用紙に係る判断の基準の変遷【2/2】

| 閣議決定 | 判断の基準の概要 | 備考 |
|---------|--|---|
| 平成26年2月 | <p>① いずれかの要件を満たすこと</p> <p>ア. 非塗工印刷用紙は古紙パルプ配合率、森林認証材パルプ利用割合、<u>間伐材等パルプ</u>利用割合、その他の持続可能性を目指したパルプの利用割合及び白色度を総合的に評価した総合評価値が80以上</p> <p>イ. 塗工印刷用紙は古紙パルプ配合率、森林認証材パルプ利用割合、<u>間伐材等パルプ</u>利用割合、その他の持続可能性を目指したパルプの利用割合及び塗工量を総合的に評価した総合評価値が80以上</p> <p>②～④ 略（変更なし）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ グリーン購入法における<u>古紙の定義及び古紙パルプ配合率の定義</u>を明示 ○ 竹パルプを間伐材パルプと同等の環境価値を有するものとして評価。新たに「間伐材等パルプ（間伐材パルプ及び竹パルプ）」として位置づけ |
| 令和5年2月 | <p>① いずれかの要件を満たすこと</p> <p>ア. 非塗工印刷用紙は古紙パルプ配合率、森林認証材パルプ利用割合、間伐材等パルプ利用割合、その他の持続可能性を目指したパルプの利用割合及び白色度を総合的に評価した<u>総合評価値が70以上</u></p> <p>イ. 塗工印刷用紙は古紙パルプ配合率、森林認証材パルプ利用割合、間伐材等パルプ利用割合、その他の持続可能性を目指したパルプの利用割合及び塗工量を総合的に評価した<u>総合評価値が70以上</u></p> <p>②～④ 略（変更なし）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ 古紙需給環境の変化に伴い、令和7年度までの<u>緊急的・時限的措置</u>として <ul style="list-style-type: none"> ➢ 総合評価値を80以上から<u>70以上</u>に引き下げ ➢ 最低保証の古紙パルプ配合率を60%から<u>40%</u>に引き下げ ○ 令和5年度に「印刷用紙専門委員会」を設置し検討 |

注：平成17年2月に閣議決定した基本方針から「古紙配合率」を「古紙パルプ配合率」に変更

□ 古紙パルプ配合率 = 古紙パルプ ÷ (バージンパルプ + 古紙パルプ) × 100 (%)

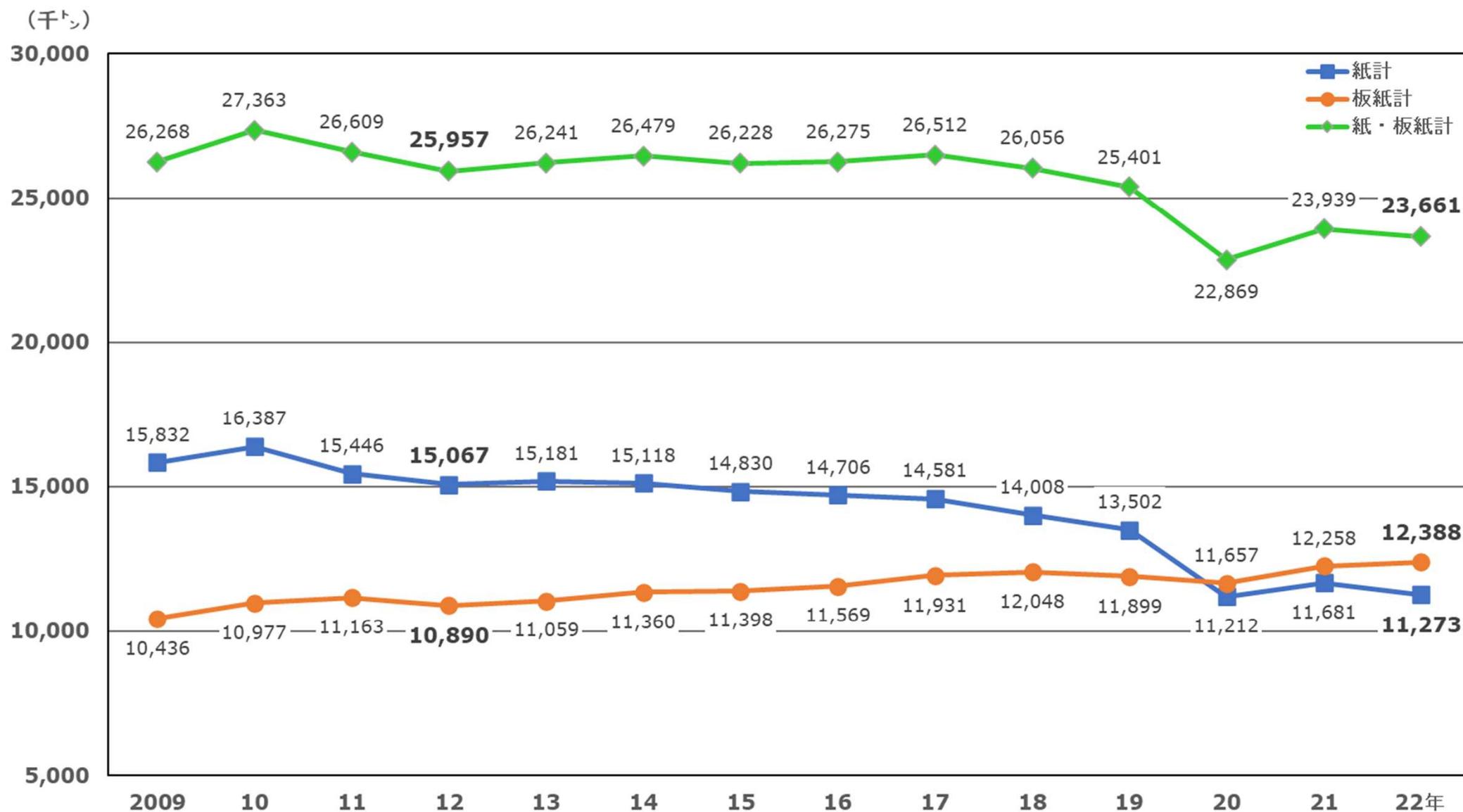
□ 古紙配合率 = (古紙[有姿] + 古紙パルプ) ÷ (バージンパルプ + 古紙[有姿] + 古紙パルプ) × 100 (%)

2. 印刷用紙に関連する統計情報等について

- ① 紙・板紙の生産量及び原料パルプとしての古紙パルプ・木材パルプの利用割合の推移
- ② 古紙パルプに関する統計情報
- ③ 木材パルプに関する統計情報

紙・板紙の生産量の推移

- 紙・板紙合計は2012年に25,957千トン、2022年に23,661千トンで2,296千トン減（▲8.8%）
- 板紙の生産量は2012年に10,890千トン、2022年に12,388千トンで1,498千トン増（+13.8%）
- 紙の生産量は2012年に15,067千トン、2022年に11,273千トンで3,794千トン減（▲25.2%）



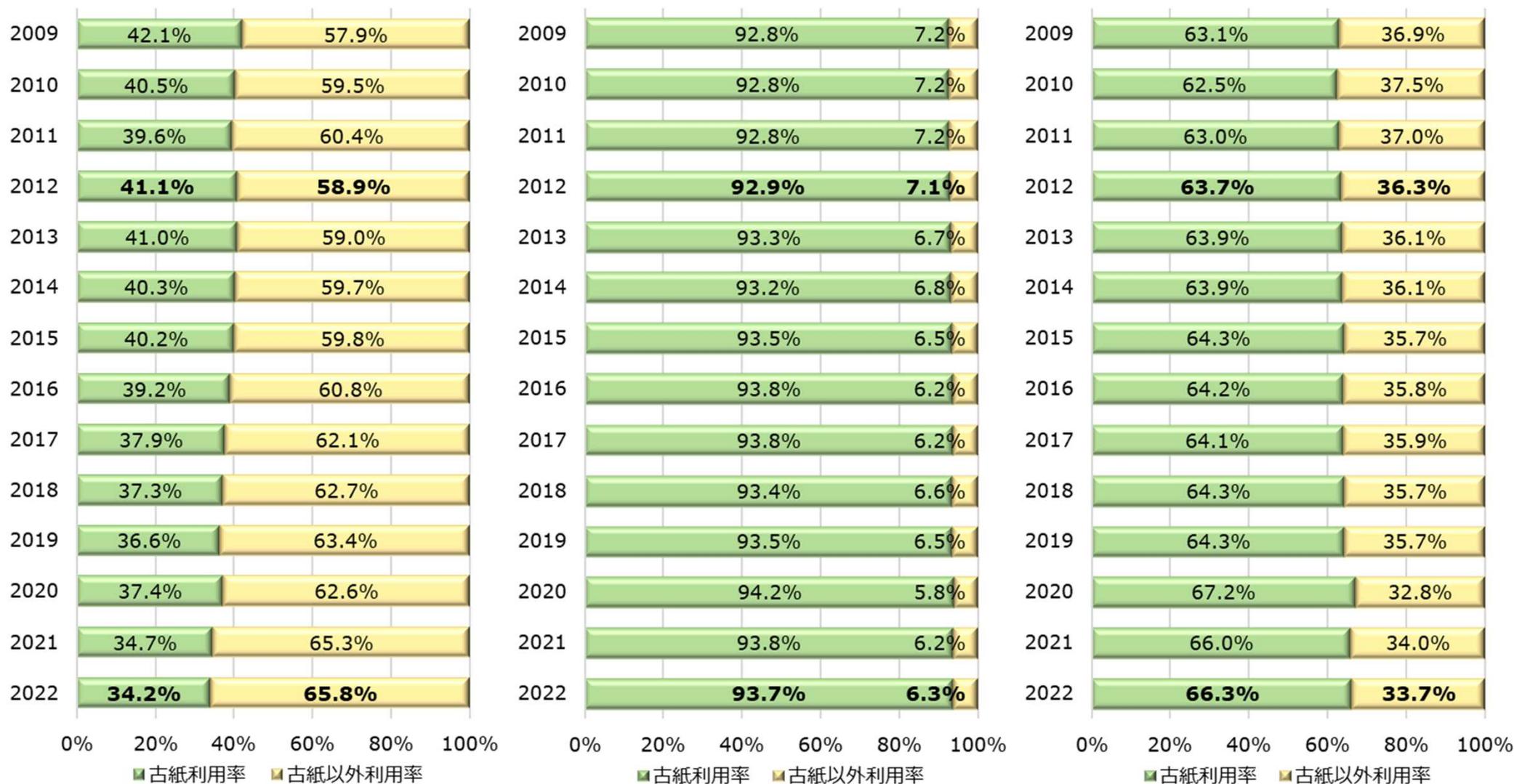
紙・板紙の用途別生産量の推移

- 新聞用紙は2012年に3,254千トン、2022年に1,854千トンで1,399千トン減（▲43.0%）
 - 印刷・情報用紙は2012年に8,420千トン、2022年に5,997千トンで2,423千トン減（▲28.8%）。
その内、印刷用紙は2012年に7,053千トン、2022年に4,889千トンで2,165千トン減（▲30.7%）。
 - 衛生用紙は2012年に1,767千トン、2022年に1,872千トンで106千トン増（+6.0%）
 - 段ボール原紙は2012年に8,637千トン、2022年に10,201千トンで1,563千トン増（+18.1%）
- ▶ 新聞用紙及び印刷用紙の大幅減産は、デジタル化の進展、特にスマートフォンの普及に伴う若年層を中心とした消費行動の変化等が新聞や出版業界の低迷を招くとともに、2020年以降のコロナ禍の影響によるテレワークの普及、イベント等の中止により、短期的にはパンフレットやカタログなどPR用途等の商業印刷が大幅に減少

| 単位：千トン | 2009 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22年 |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 新聞用紙 | 3,455 | 3,349 | 3,211 | 3,254 | 3,219 | 3,134 | 2,985 | 2,906 | 2,779 | 2,594 | 2,422 | 2,061 | 1,978 | 1,854 |
| 印刷・情報用紙 | 9,120 | 9,547 | 8,765 | 8,420 | 8,576 | 8,491 | 8,384 | 8,309 | 8,242 | 7,871 | 7,512 | 5,877 | 6,314 | 5,997 |
| 印刷用紙 | 7,701 | 8,069 | 7,353 | 7,053 | 7,253 | 7,112 | 7,024 | 6,919 | 6,883 | 6,519 | 6,098 | 4,751 | 5,154 | 4,889 |
| 非塗工 | 2,164 | 2,148 | 2,062 | 1,945 | 1,954 | 1,897 | 1,826 | 1,834 | 1,784 | 1,785 | 1,691 | 1,394 | 1,500 | 1,370 |
| 微塗工 | 1,521 | 1,552 | 1,291 | 1,238 | 1,299 | 1,227 | 1,228 | 1,156 | 1,123 | 1,089 | 1,025 | 765 | 807 | 845 |
| 塗工 | 3,768 | 4,109 | 3,747 | 3,634 | 3,766 | 3,755 | 3,743 | 3,705 | 3,753 | 3,426 | 3,172 | 2,418 | 2,661 | 2,488 |
| 特殊 | 247 | 260 | 253 | 237 | 234 | 233 | 227 | 224 | 223 | 219 | 210 | 174 | 186 | 185 |
| 情報用紙 | 1,420 | 1,478 | 1,413 | 1,366 | 1,323 | 1,380 | 1,360 | 1,390 | 1,360 | 1,352 | 1,413 | 1,127 | 1,160 | 1,108 |
| 包装用紙 | 786 | 904 | 901 | 871 | 880 | 905 | 891 | 877 | 896 | 897 | 899 | 759 | 831 | 842 |
| 衛生用紙 | 1,776 | 1,792 | 1,780 | 1,767 | 1,747 | 1,767 | 1,766 | 1,807 | 1,786 | 1,776 | 1,831 | 1,833 | 1,797 | 1,872 |
| 雑種紙 | 695 | 794 | 790 | 756 | 760 | 821 | 804 | 807 | 877 | 870 | 838 | 681 | 760 | 708 |
| 紙計 | 15,832 | 16,387 | 15,446 | 15,067 | 15,181 | 15,118 | 14,830 | 14,706 | 14,581 | 14,008 | 13,502 | 11,212 | 11,681 | 11,273 |
| 段ボール原紙 | 8,212 | 8,647 | 8,811 | 8,637 | 8,805 | 9,096 | 9,187 | 9,364 | 9,682 | 9,765 | 9,658 | 9,701 | 10,131 | 10,201 |
| 紙器用原紙 | 1,637 | 1,673 | 1,696 | 1,614 | 1,597 | 1,593 | 1,570 | 1,576 | 1,597 | 1,615 | 1,599 | 1,378 | 1,501 | 1,562 |
| 雑板紙 | 587 | 656 | 656 | 638 | 657 | 672 | 642 | 629 | 652 | 668 | 642 | 579 | 625 | 624 |
| 板紙計 | 10,436 | 10,977 | 11,163 | 10,890 | 11,059 | 11,360 | 11,398 | 11,569 | 11,931 | 12,048 | 11,899 | 11,657 | 12,258 | 12,388 |
| 紙・板紙計 | 26,268 | 27,363 | 26,609 | 25,957 | 26,241 | 26,479 | 26,228 | 26,275 | 26,512 | 26,056 | 25,401 | 22,869 | 23,939 | 23,661 |

古紙利用率（紙用・板紙用・合計）の推移

- 古紙利用率は2012年に63.7%、2022年に66.3%で2.6ポイント増。紙・板紙の内訳は、
 - 紙用古紙利用率 41.1%（2012年）⇒ 34.2%（2022年） ▲6.9ポイント
 - 板紙用古紙利用率 92.9%（2012年）⇒ 93.7%（2022年） +0.8ポイント（上限近い）



紙用古紙利用率

板紙用古紙利用率

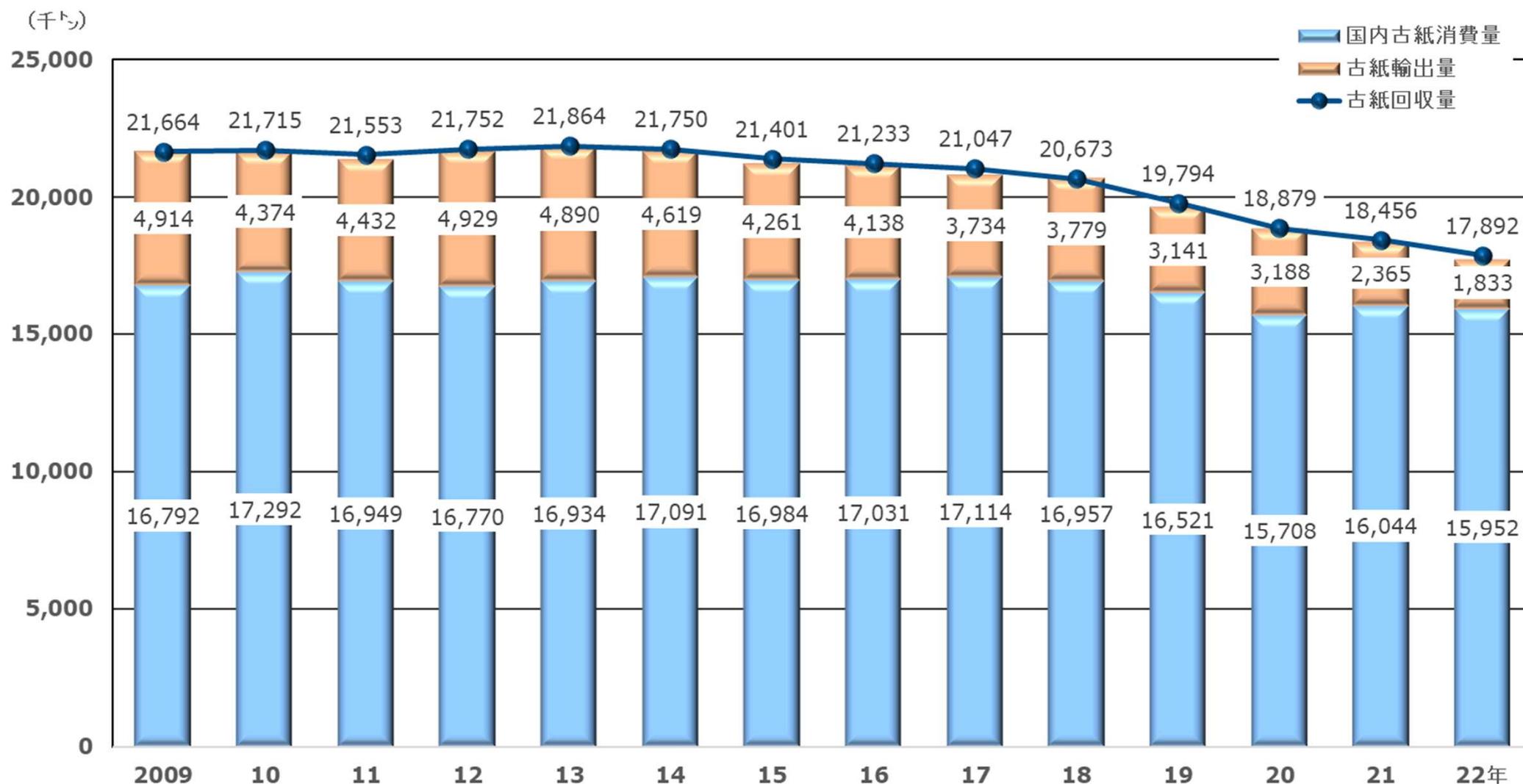
古紙利用率（合計）

2. 印刷用紙に関連する統計情報等について

- ① 紙・板紙の生産量及び原料パルプとしての古紙パルプ・木材パルプの利用割合の推移
- ② 古紙パルプに関する統計情報
- ③ 木材パルプに関する統計情報

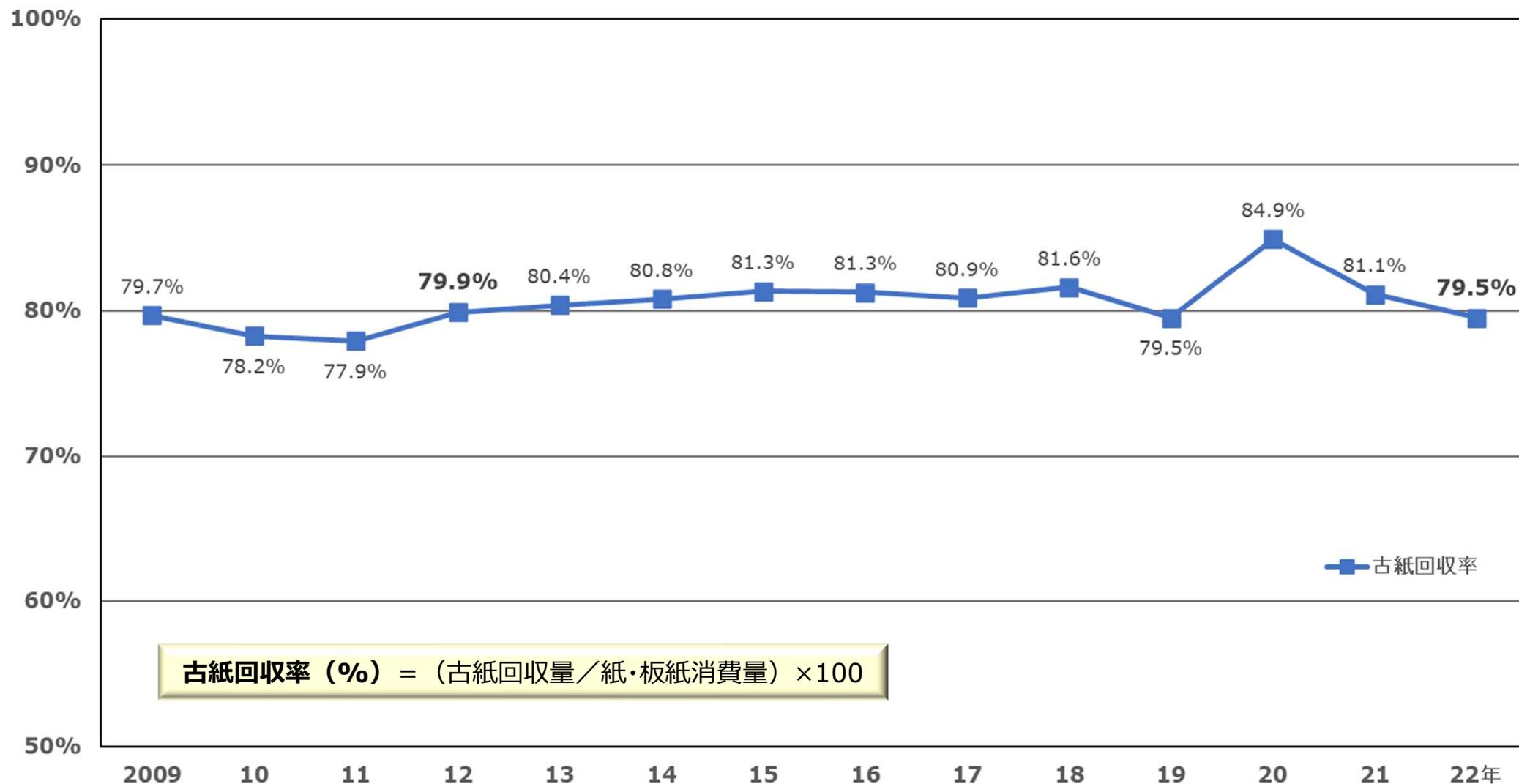
古紙の回収量・消費量・輸出量の推移

- 古紙回収量は2012年に21,752千トン、2022年に17,892千トンで3,860千トン減（▲17.7%）
- 古紙消費量は2012年に16,770千トン、2022年に15,952千トンで818千トン減（▲4.8%）
- 古紙輸出量は2012年に4,929千トン、2022年に1,833千トンで3,096千トン減（▲62.8%）
- 古紙回収量に占める輸出の割合は2012年に**22.7%**、2022年には**10.2%**。中国の輸入禁止措置が影響

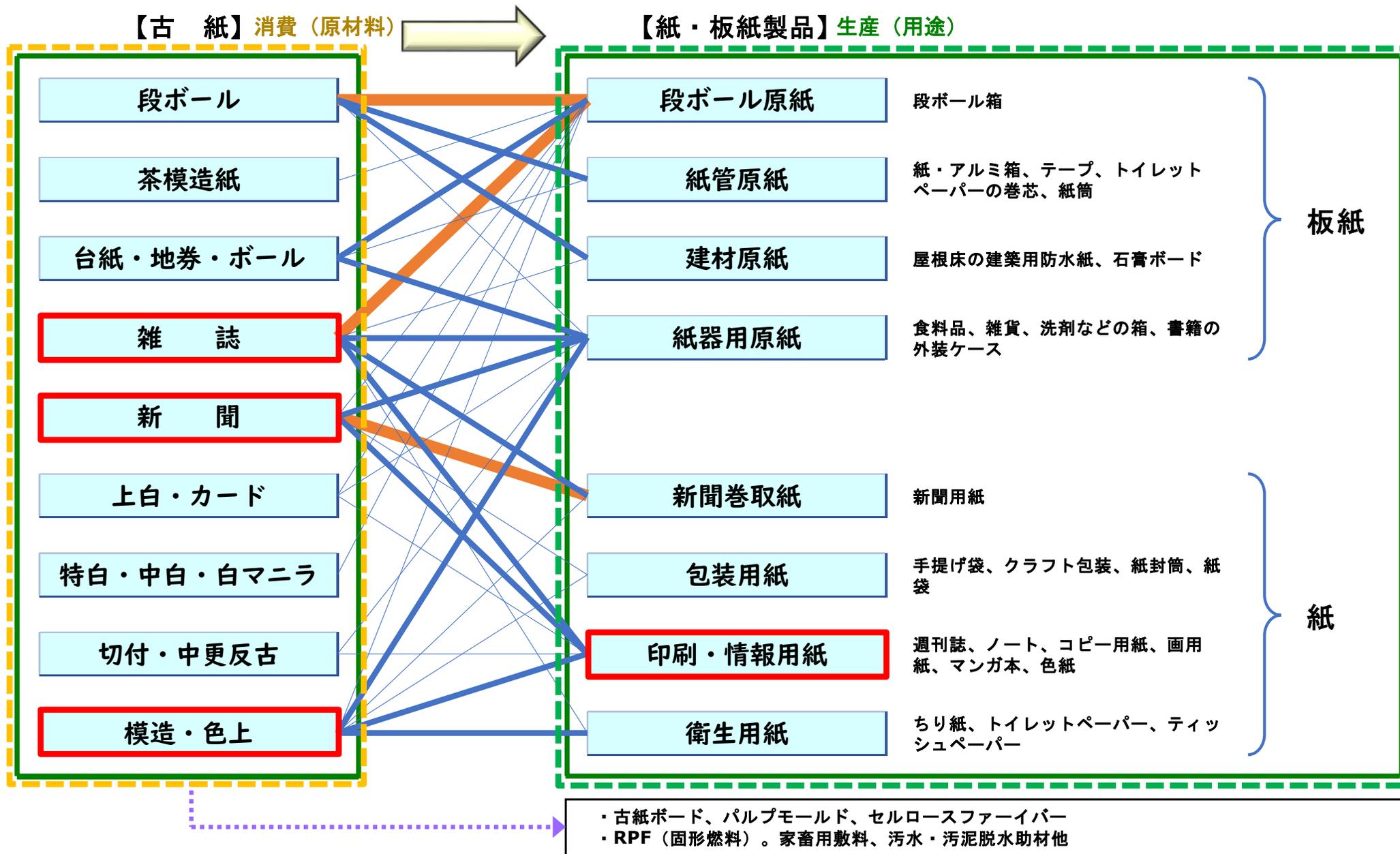


古紙回収率の推移

○ 古紙回収率は2012年に79.9%、2022年に79.5%となっており、ほぼ横ばい



古紙パルプの原材料及び用途【2022年】

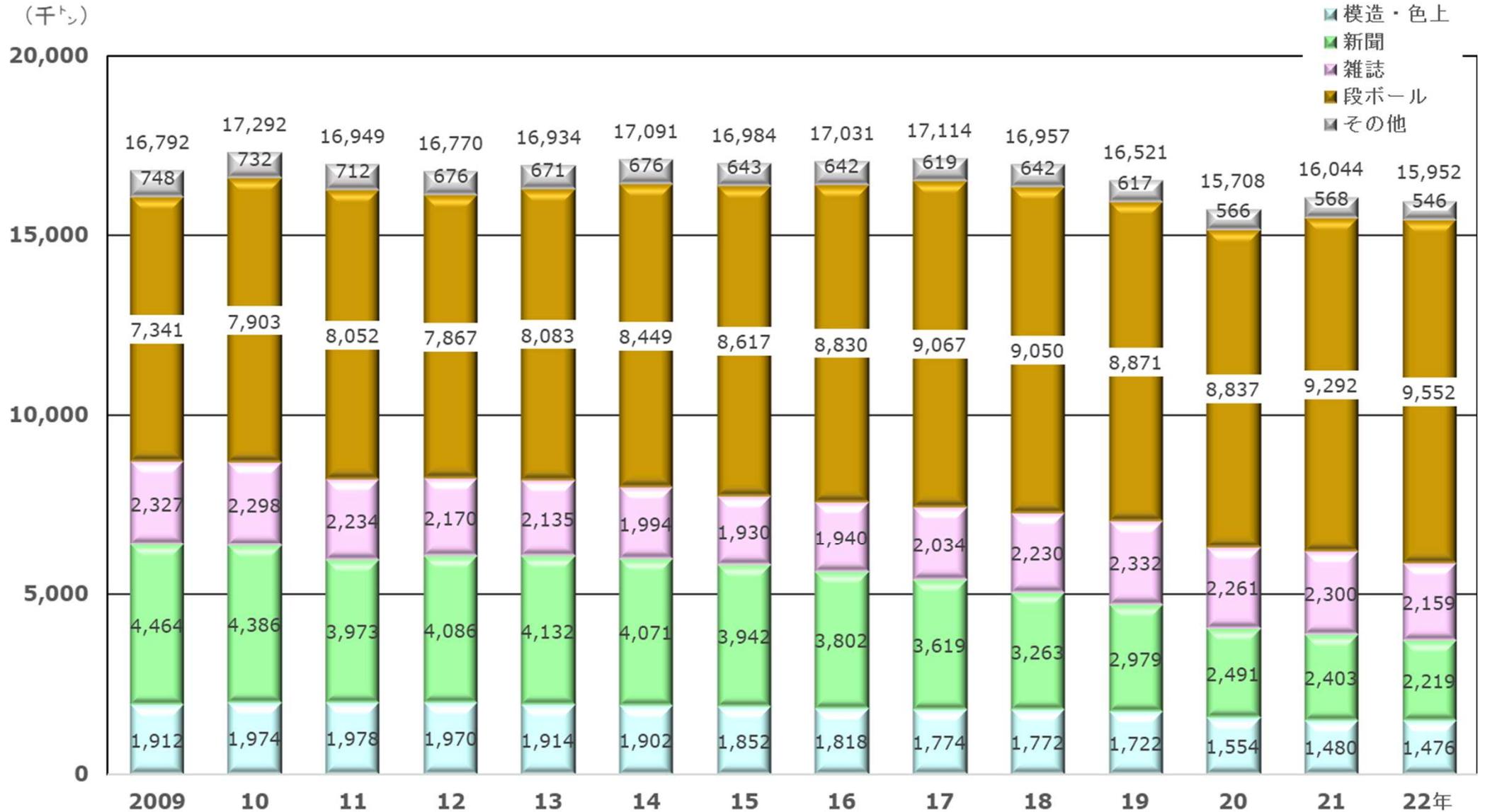


- 消費量 1,000千ト/年以上
- 消費量 100千ト/年以上
- 消費量 10千ト/年以上

【紙・板紙合計】古紙の品種別消費量（古紙パルプ原材料としての利用量）の推移

○ 古紙の品種別消費量（紙・板紙合計）の推移は下図のとおり

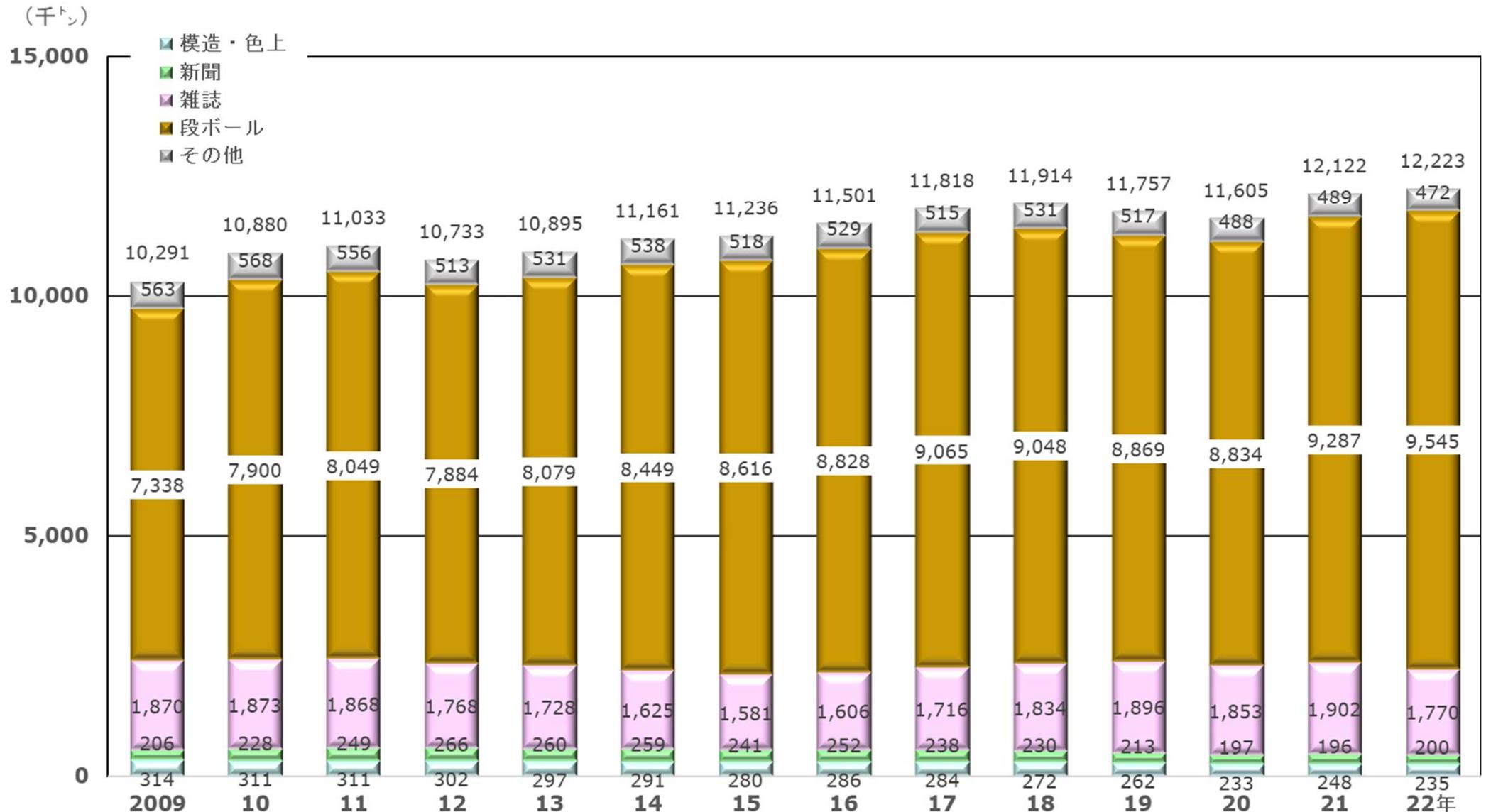
➤ 段ボール古紙は増加傾向を示しているが、印刷用紙の原料となる模造・色上古紙、新聞古紙は大きく減少



【板紙向】古紙の品種別消費量（古紙パルプ原材料としての利用量）の推移

○ 古紙の品種別消費量（板紙向）の推移は下図のとおり

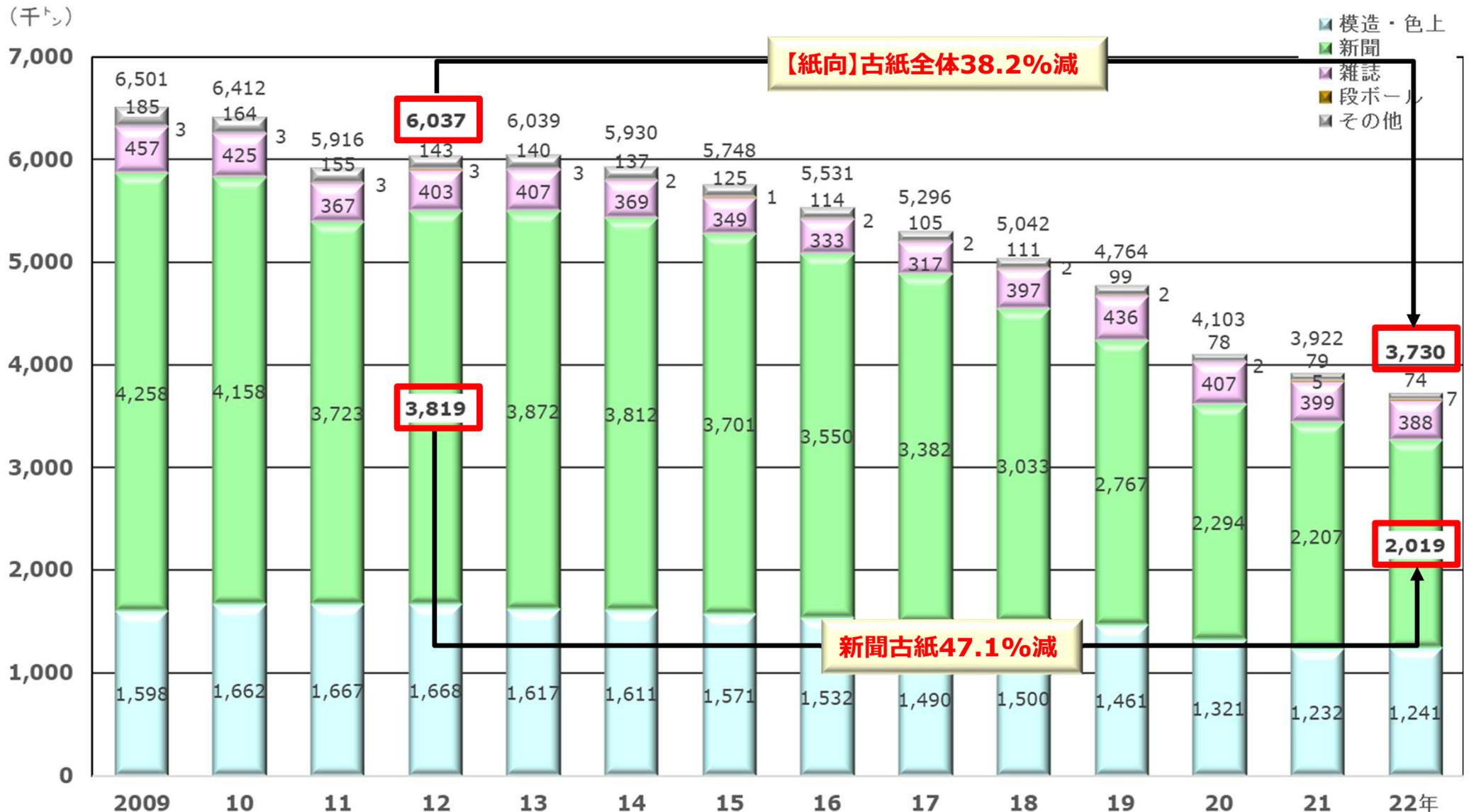
- 板紙の生産量は2022年に2012年比13.8%の増加（7ページ参照）に対し、
- 【板紙向】古紙全体の消費量は2022年に2012年比**13.9%の増加**、段ボールは同**21.1%の増加**



【紙向】古紙の品種別消費量（古紙パルプ原材料としての利用量）の推移

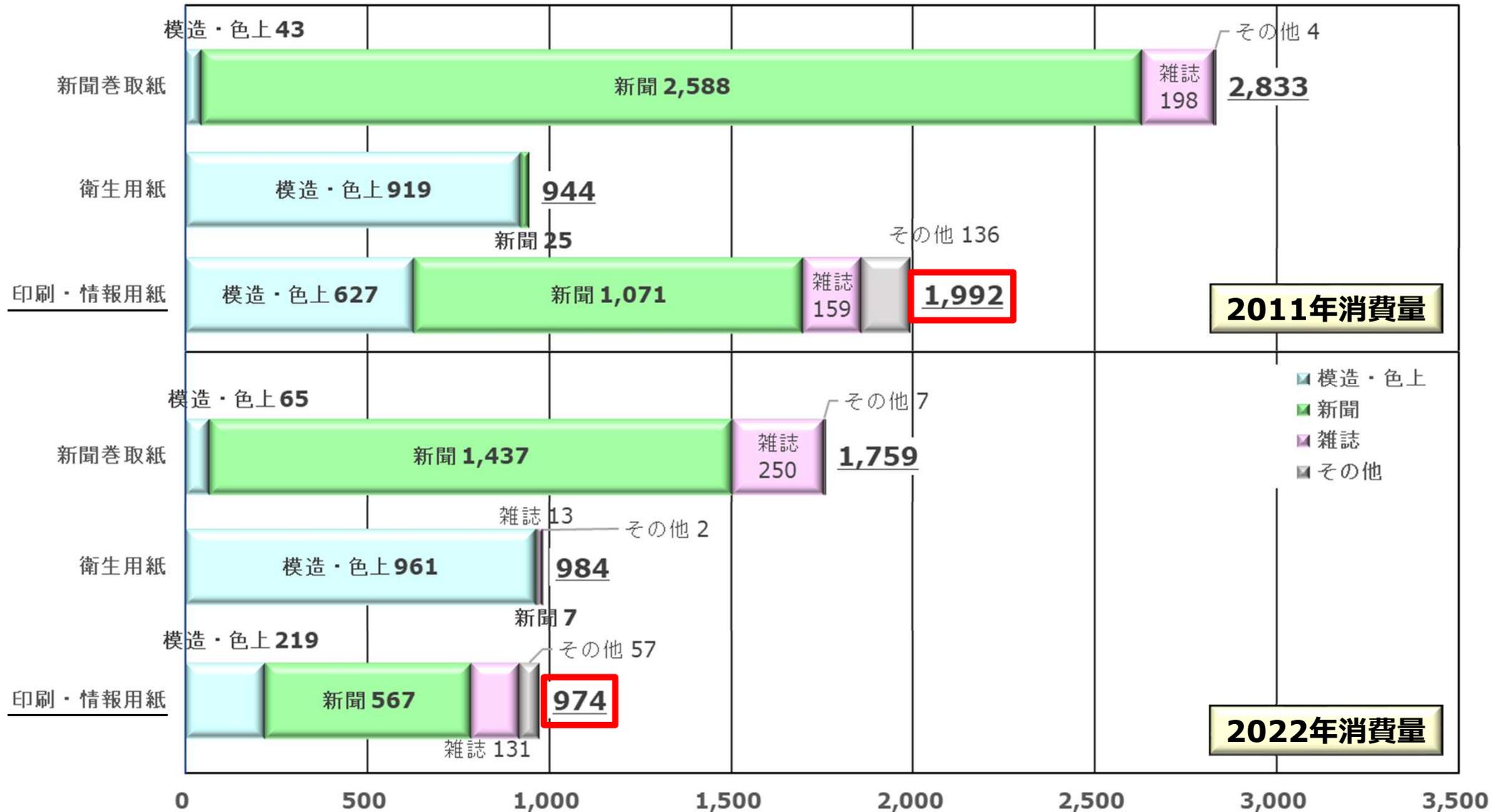
○ 古紙の品種別消費量（紙向）の推移は下図のとおり

- 紙の生産量は2022年に2012年比25.2%の減少（7ページ参照）に対し、
- 【紙向】古紙全体の消費量は2022年に2012年比**38.2%の減少**、新聞古紙は同**47.1%の大幅減少**



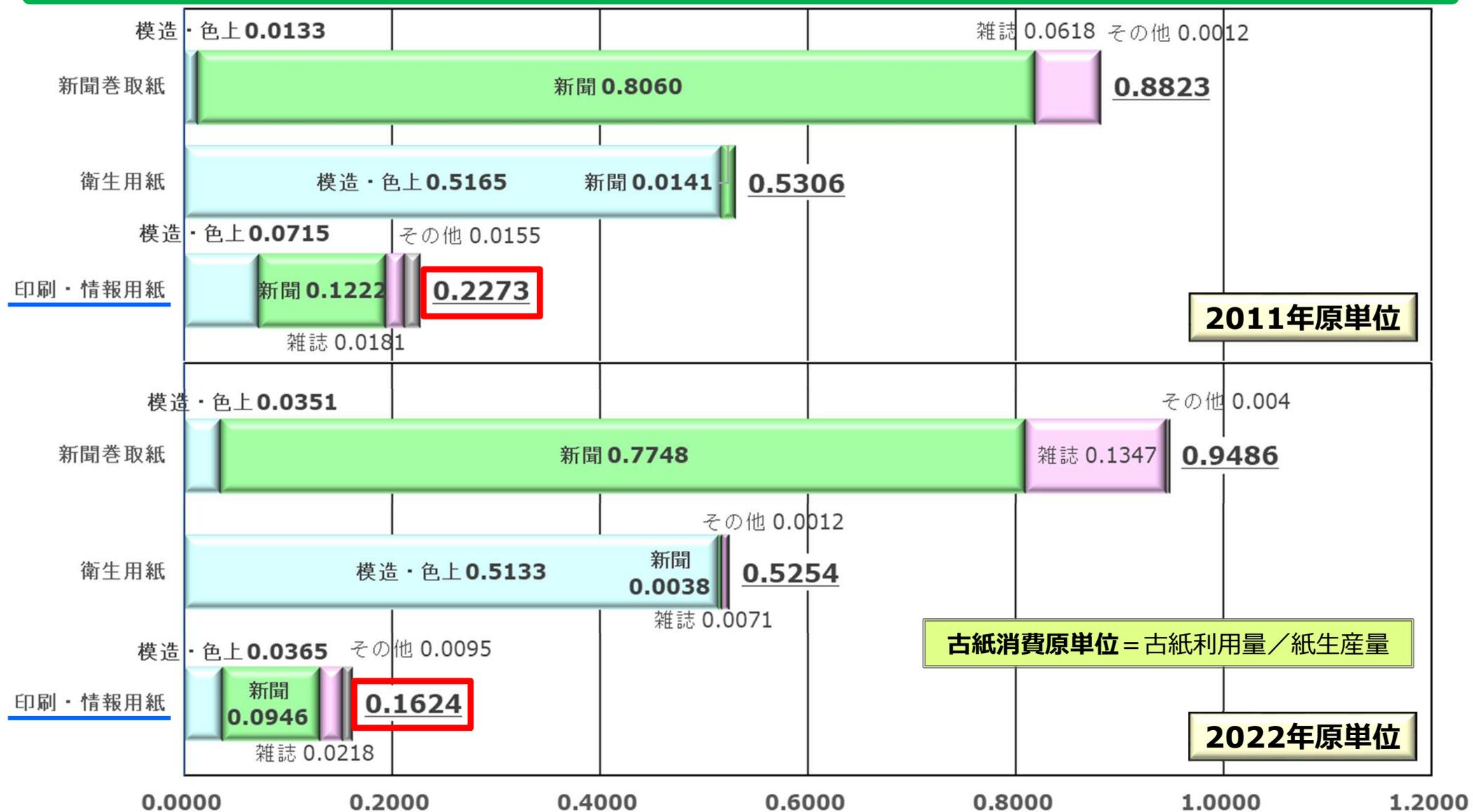
紙の主要用途別の原材料としての古紙の品種別消費量（推定） 2011年 ⇒ 2022年

- 紙の主要用途別の原材料としての古紙の品種別消費量は下図のとおり
 - 印刷・情報用紙生産量の低下（▲28.8%）に比べ、印刷・情報用紙の古紙利用量が著しく低下（▲51.1%）



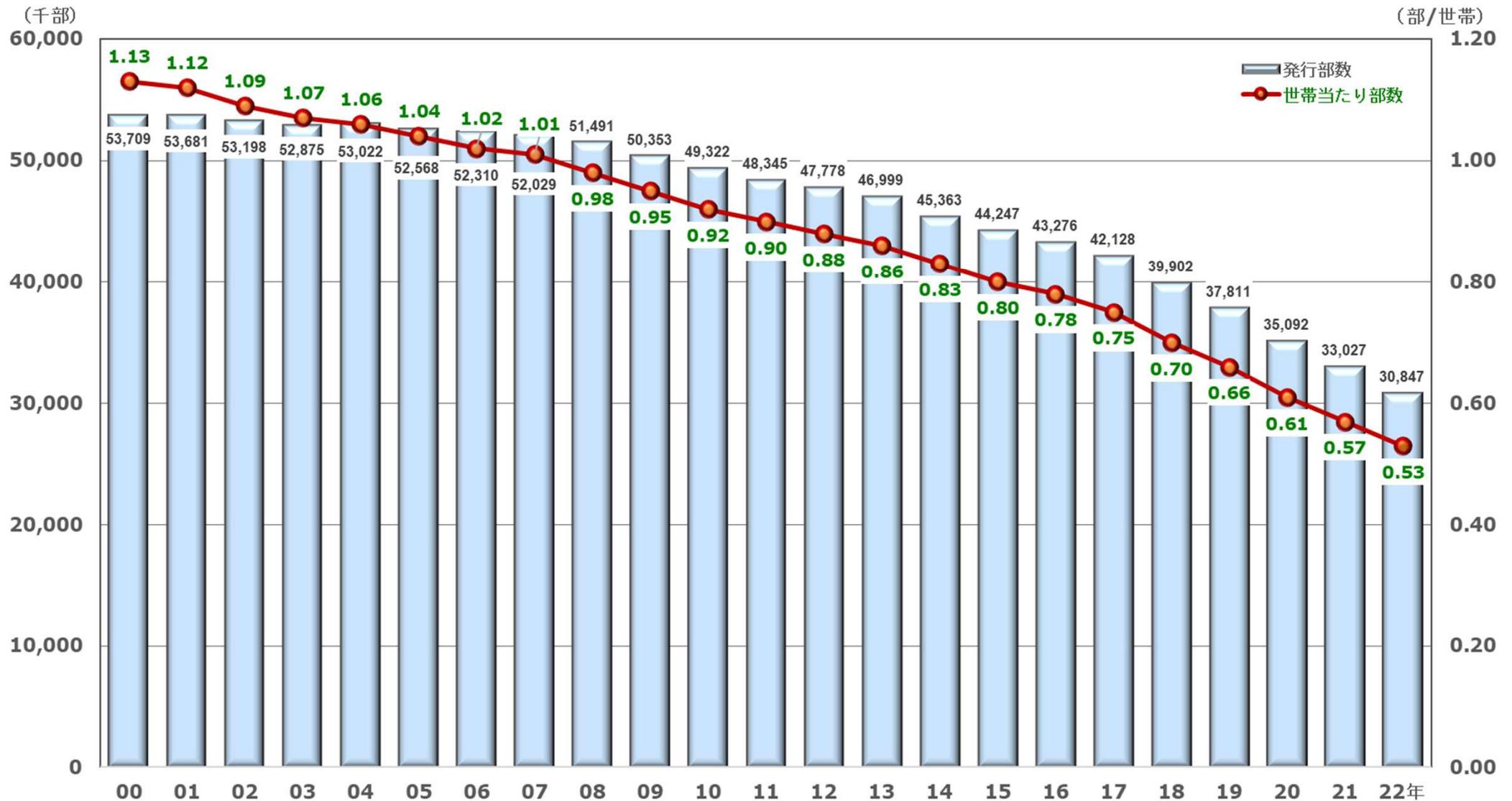
紙の主要用途別の原材料としての古紙の品種別利用割合（推定） 2011年 ⇒ 2022年

- 紙の主要用途別の原材料としての古紙の品種別利用割合（消費原単位）は下図のとおり
 - 新聞巻取紙は0.8823→0.9484の上昇、衛生用紙は0.5306→0.5254の横ばいに対し、印刷・情報用紙は0.2273→0.1624の低下



新聞発行部数及び世帯当たり発行部数の推移 【各年10月】

- 新聞発行部数は2000年に5,371万部、2022年に3,085万部（2000年比▲42.6%）
- 世帯当たりの新聞発行部数は2000年に1.13部、2022年に0.53部（2000年比▲53.2%）



注1：朝夕刊セットを1部として計算（以下のグラフにおいて同じ）

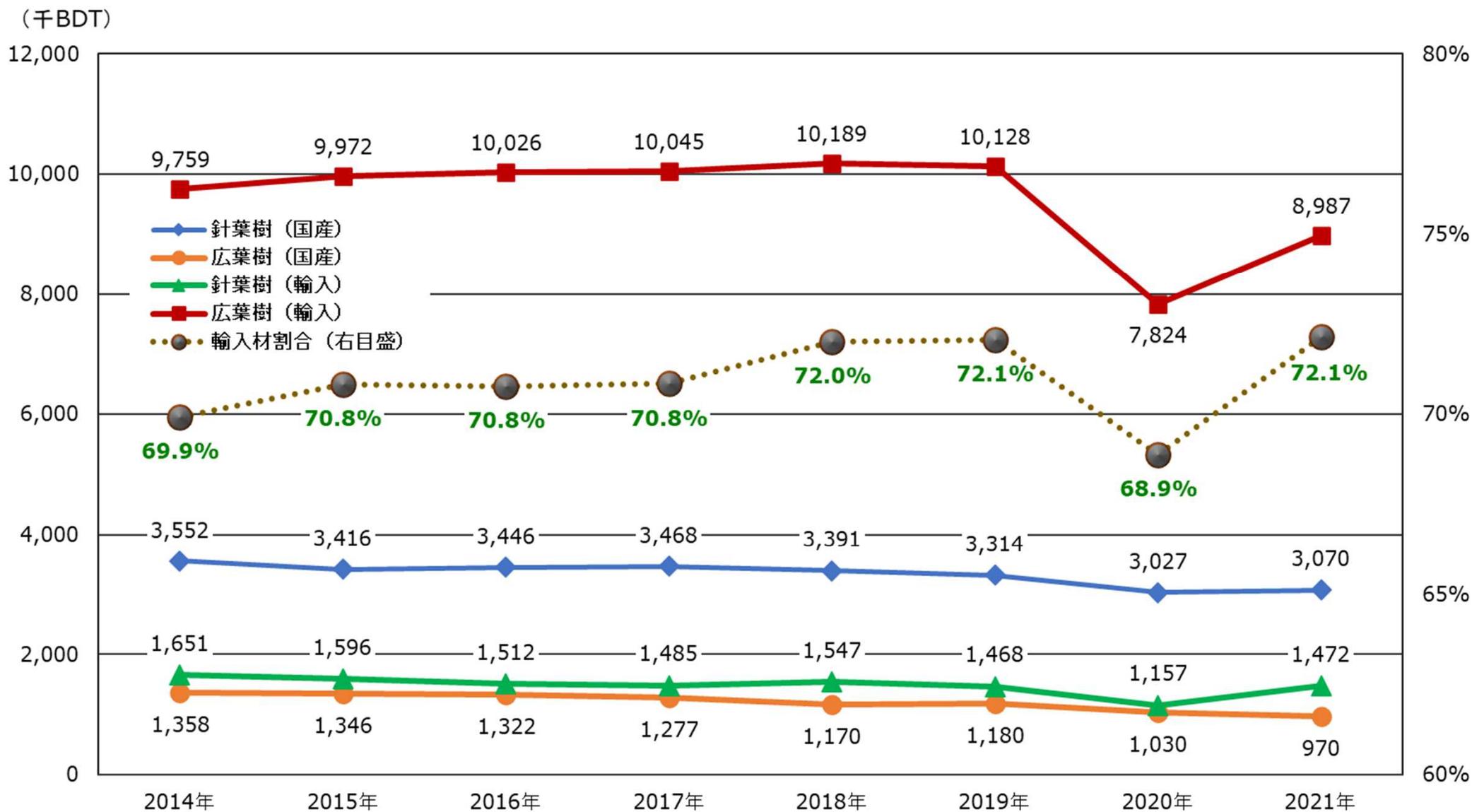
注2：世帯数は2014年から1月1日現在、2013年までは3月31日現在の住民基本台帳

2. 印刷用紙に関連する統計情報等について

- ① 紙・板紙の生産量及び原料パルプとしての古紙パルプ・木材パルプの利用割合の推移
- ② 古紙パルプに関する統計情報
- ③ 木材パルプに関する統計情報

パルプ材の集荷量推移・輸入材割合の推移

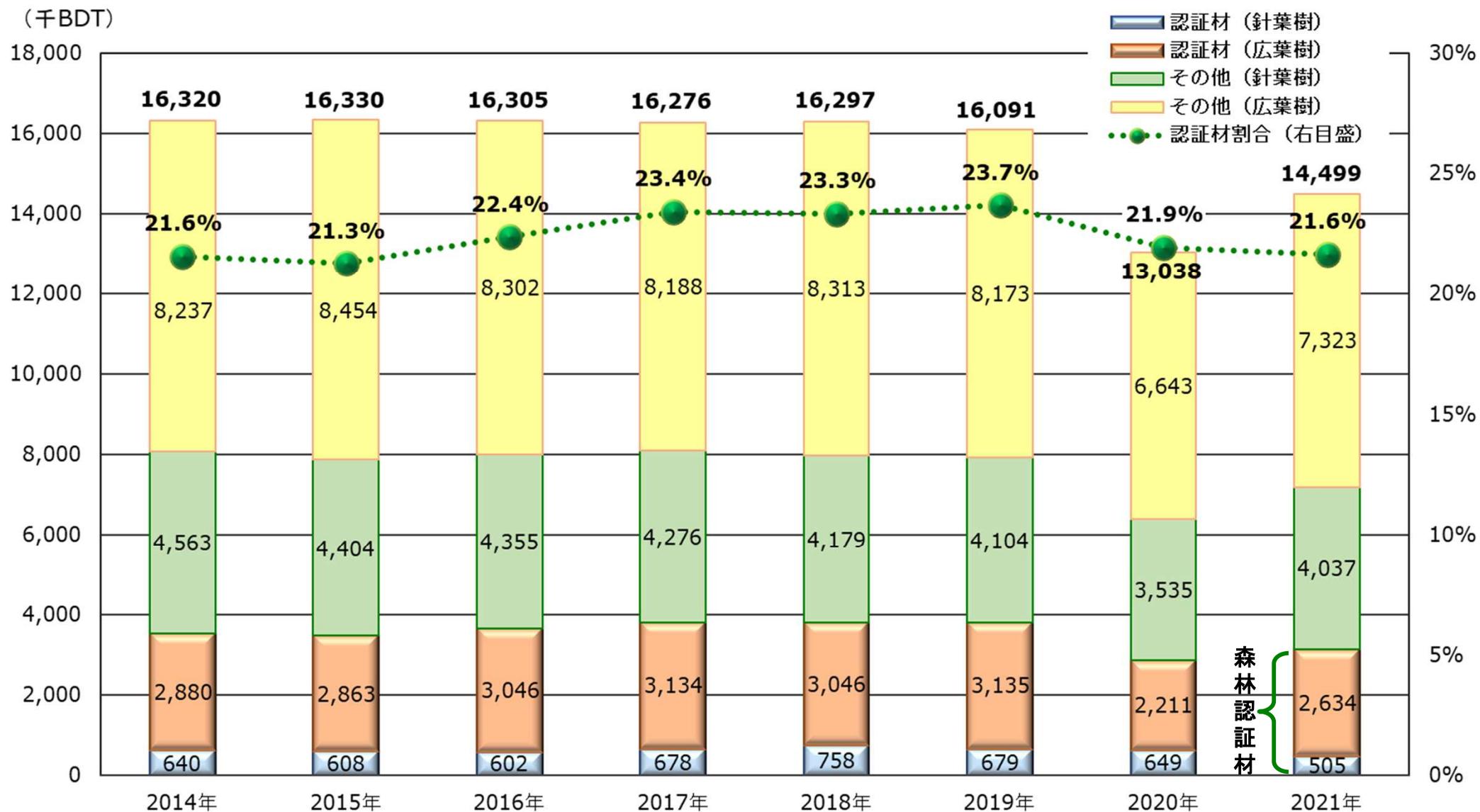
- 2014年～2021年におけるパルプ材の樹種別（国産材・輸入材）の集荷量は以下のとおり
 - 2021年における輸入材割合は**72.1%**であり、概ね**70%**程度で推移



木材チップにおける森林認証材の利用状況の推移

○ 2014年～2021年におけるパルプ材の樹種別の集荷量及び森林認証材は以下のとおり

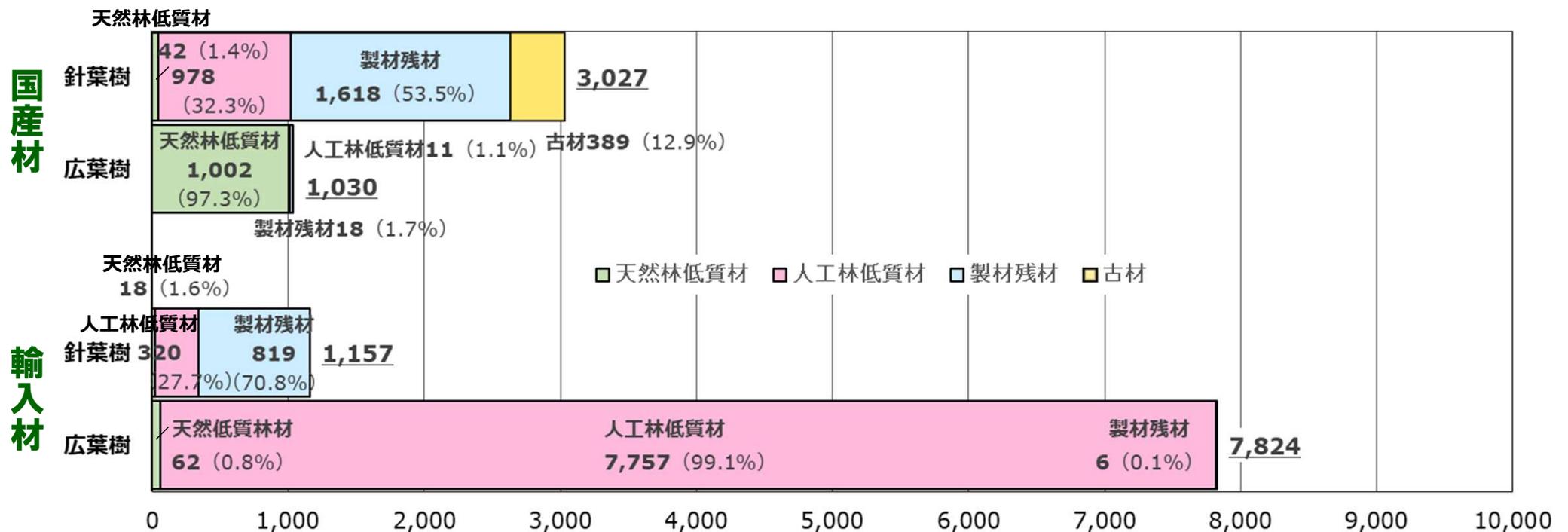
➤ 2021年における森林認証材の割合は21.6%であり、概ね20%強で推移



パルプ材の原料構成 【2020年】

○ 2020年におけるパルプ材の原料構成は下図のとおり

- 国産材は**4,057千BD**ト（絶乾重量）であり、内訳は針葉樹が3,027千BDト（製材残材53.3%）、広葉樹が1,030千BDト（天然林材97.3%）
- 輸入材は**10,128千BD**トであり、内訳は針葉樹が1,157千BDト（製材残材70.8%）、広葉樹が7,824千BDト（人工林材99.1%）



<針葉樹>

天然林低質材：天然林で建材向け等として利用不可な木材
 人工林低質材：植林木で建材向け等として利用不可な木材
 製材残材：建材向けの製材工程で発生する端材等
 古材：建築廃材等

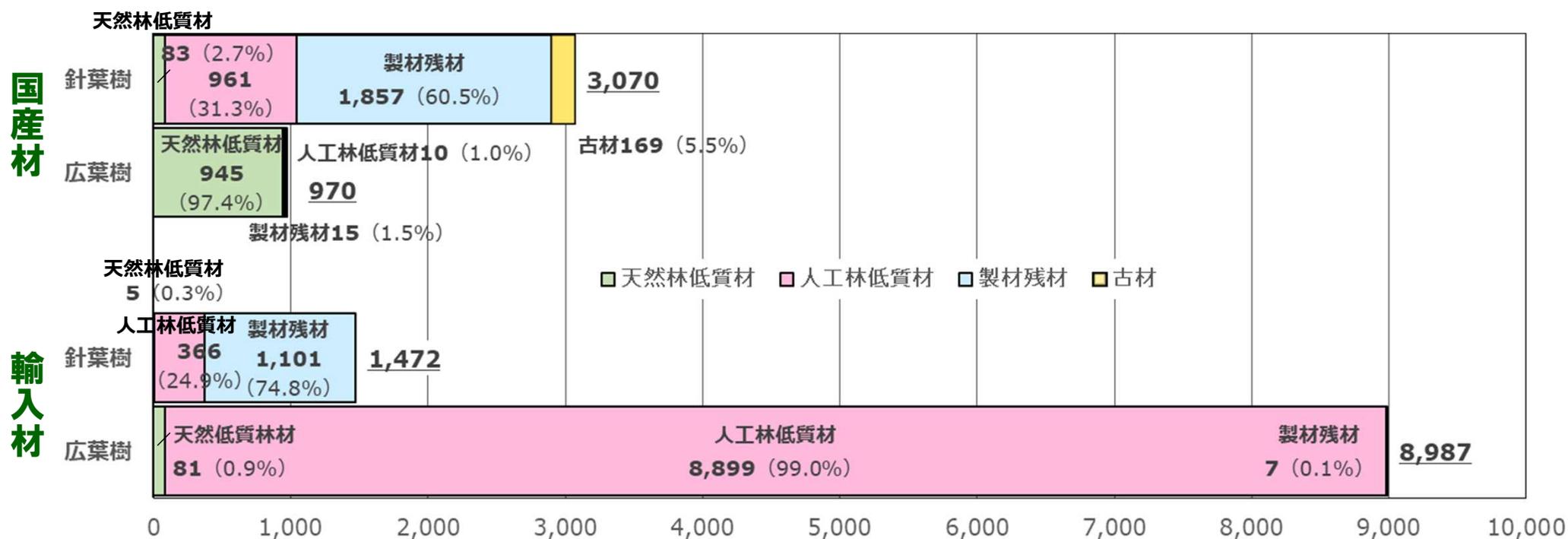
<広葉樹>

天然林低質材：天然林で建材向け等として利用不可な木材
 人工林低質材：製紙パルプ向けの植林木から得られる木材（輸入材）
 植林木で建材向け等として利用不可な木材
 製材残材：建材向けの製材工程で発生する端材等

パルプ材の原料構成 【2021年】

○ 2021年におけるパルプ材の原料構成は下図のとおり

- 国産材は**4,040千BD**ト（絶乾重量）であり、内訳は針葉樹が3,070千BDト（製材残材60.5%）、広葉樹が970千BDト（天然林材97.4%）
- 輸入材は**10,460千BD**トであり、内訳は針葉樹が1,472千BDト（製材残材74.8%）、広葉樹が8,987千BDト（人工林材99.0%）



＜針葉樹＞

天然林低質材：天然林で建材向け等として利用不可な木材
 人工林低質材：植林木で建材向け等として利用不可な木材
 製材残材：建材向けの製材工程で発生する端材等
 古材：建築廃材等

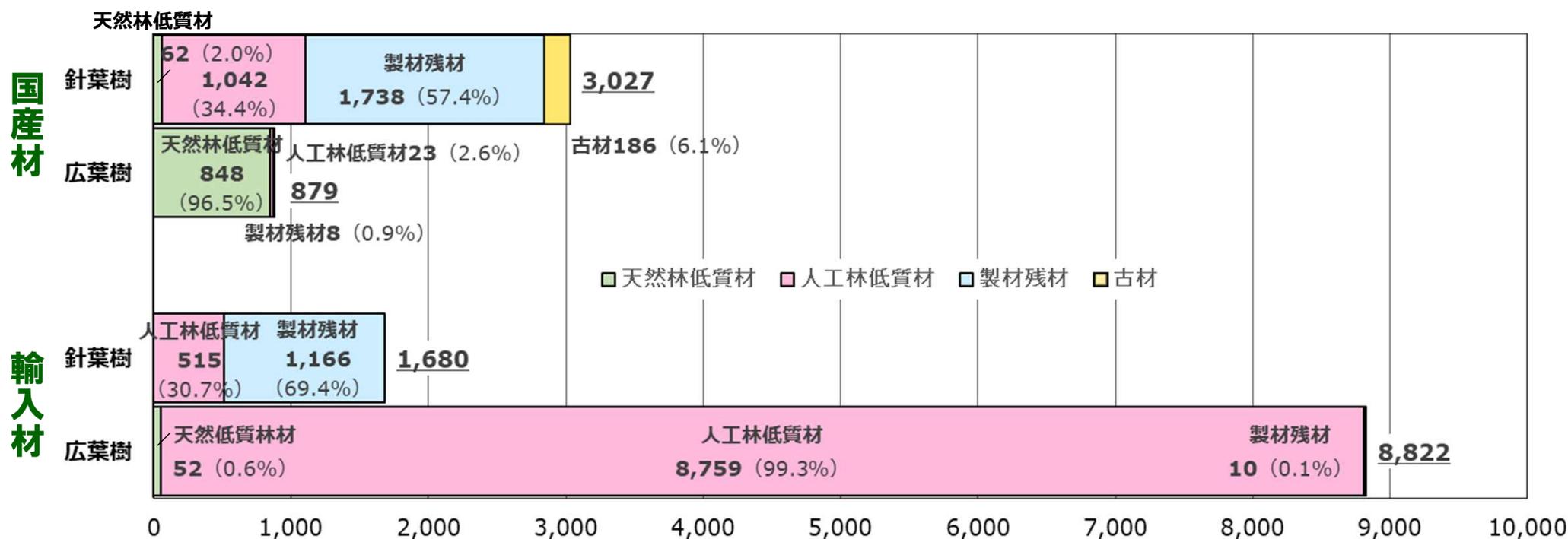
＜広葉樹＞

天然林低質材：天然林で建材向け等として利用不可な木材
 人工林低質材：製紙パルプ向けの植林木から得られる木材（輸入材）
 植林木で建材向け等として利用不可な木材
 製材残材：建材向けの製材工程で発生する端材等

パルプ材の原料構成 【2022年】

○ 2022年におけるパルプ材の原料構成は下図のとおり

- 国産材は**3,906千BD**ト（絶乾重量）であり、内訳は針葉樹が3,027千BDト（製材残材57.4%）、広葉樹が879千BDト（天然林材96.5%）
- 輸入材は**10,502千BD**トであり、内訳は針葉樹が1,680千BDト（製材残材69.4%）、広葉樹が8,822千BDト（人工林材99.3%）



＜針葉樹＞

天然林低質材：天然林で建材向け等として利用不可な木材
 人工林低質材：植林木で建材向け等として利用不可な木材
 製材残材：建材向けの製材工程で発生する端材等
 古材：建築廃材等

＜広葉樹＞

天然林低質材：天然林で建材向け等として利用不可な木材
 人工林低質材：製紙パルプ向けの植林木から得られる木材（輸入材）
 植林木で建材向け等として利用不可な木材
 製材残材：建材向けの製材工程で発生する端材等

木材チップにおける森林認証材の利用状況の推移

【合計】

- 2014年～2021年における国産材及び輸入材を合わせた調達木材チップにおける森林認証材の利用状況は下表のとおり
 - 2021年における調達木材チップに占める森林認証材の割合は**21.6%**であり、**2020年比0.3ポイント減**、**2019年からは2.1ポイント減**
 - 2014年以降針葉樹の森林認証材は**微増傾向**を示していたが、**2021年に2020年比4.5ポイント減**

木材チップにおける森林認証材の利用状況（国産材＋輸入材）

単位：千BDT

| 年次 | 針葉樹 | | | 広葉樹 | | | 合計（針葉樹＋広葉樹） | | |
|-------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|-------------|--------|--------|
| | 森林認証材 | その他 | 集荷量計 | 森林認証材 | その他 | 集荷量計 | 森林認証材 | その他 | 集荷量計 |
| 2014年 | 640 | 4,563 | 5,203 | 2,880 | 8,237 | 11,117 | 3,520 | 12,800 | 16,320 |
| | 12.3% | 87.7% | 100.0% | 25.9% | 74.1% | 100.0% | 21.6% | 78.4% | 100.0% |
| 2015年 | 608 | 4,404 | 5,012 | 2,863 | 8,454 | 11,318 | 3,471 | 12,858 | 16,330 |
| | 12.1% | 87.9% | 100.0% | 25.3% | 74.7% | 100.0% | 21.3% | 78.7% | 100.0% |
| 2016年 | 602 | 4,355 | 4,957 | 3,046 | 8,302 | 11,348 | 3,648 | 12,657 | 16,305 |
| | 12.1% | 87.9% | 100.0% | 26.8% | 73.2% | 100.0% | 22.4% | 77.6% | 100.0% |
| 2017年 | 678 | 4,276 | 4,954 | 3,134 | 8,188 | 11,323 | 3,812 | 12,464 | 16,276 |
| | 13.7% | 86.3% | 100.0% | 27.7% | 72.3% | 100.0% | 23.4% | 76.6% | 100.0% |
| 2018年 | 758 | 4,179 | 4,937 | 3,046 | 8,313 | 11,360 | 3,804 | 12,492 | 16,297 |
| | 15.4% | 84.6% | 100.0% | 26.8% | 73.2% | 100.0% | 23.3% | 76.7% | 100.0% |
| 2019年 | 679 | 4,104 | 4,783 | 3,135 | 8,173 | 11,309 | 3,815 | 12,276 | 16,091 |
| | 14.2% | 85.8% | 100.0% | 27.7% | 72.3% | 100.0% | 23.7% | 76.3% | 100.0% |
| 2020年 | 649 | 3,535 | 4,184 | 2,211 | 6,643 | 8,854 | 2,860 | 10,178 | 13,038 |
| | 15.5% | 84.5% | 100.0% | 25.0% | 75.0% | 100.0% | 21.9% | 78.1% | 100.0% |
| 2021年 | 505 | 4,037 | 4,542 | 2,634 | 7,323 | 9,957 | 3,139 | 11,360 | 14,499 |
| | 11.1% | 88.9% | 100.0% | 26.5% | 73.5% | 100.0% | 21.6% | 78.4% | 100.0% |

注：各年次の上段は利用量、下段は集荷量計に占める割合

木材チップにおける森林認証材の利用状況の推移

【輸入材】

- 2014年～2021年における輸入材の木材チップにおける森林認証材の利用状況は下表のとおり
 - 2021年においては針葉樹の34.3%、広葉樹の29.3%、合わせて30.0%が森林認証材
 - 2014年以降は針葉樹と広葉樹を合わせて森林認証材は30%程度で推移

木材チップにおける森林認証材の利用状況（輸入材）

単位：千BDT

| 年次 | 針葉樹 | | | 広葉樹 | | | 合計（針葉樹＋広葉樹） | | |
|-------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|-------------|-------|--------|
| | 森林認証材 | その他 | 集荷量計 | 森林認証材 | その他 | 集荷量計 | 森林認証材 | その他 | 集荷量計 |
| 2014年 | 442 | 1,209 | 1,651 | 2,876 | 6,883 | 9,759 | 3,318 | 8,092 | 11,410 |
| | 26.8% | 73.2% | 100.0% | 29.5% | 70.5% | 100.0% | 29.1% | 70.9% | 100.0% |
| 2015年 | 423 | 1,173 | 1,596 | 2,861 | 7,111 | 9,972 | 3,284 | 8,284 | 11,568 |
| | 26.5% | 73.5% | 100.0% | 28.7% | 71.3% | 100.0% | 28.4% | 71.6% | 100.0% |
| 2016年 | 410 | 1,102 | 1,512 | 3,044 | 6,982 | 10,026 | 3,454 | 8,084 | 11,538 |
| | 27.1% | 72.9% | 100.0% | 30.4% | 69.6% | 100.0% | 29.9% | 70.1% | 100.0% |
| 2017年 | 468 | 1,017 | 1,485 | 3,132 | 6,913 | 10,045 | 3,600 | 7,930 | 11,531 |
| | 31.5% | 68.5% | 100.0% | 31.2% | 68.8% | 100.0% | 31.2% | 68.8% | 100.0% |
| 2018年 | 555 | 992 | 1,547 | 3,045 | 7,144 | 10,189 | 3,600 | 8,136 | 11,736 |
| | 35.9% | 64.1% | 100.0% | 29.9% | 70.1% | 100.0% | 30.7% | 69.3% | 100.0% |
| 2019年 | 494 | 974 | 1,468 | 3,135 | 6,993 | 10,128 | 3,630 | 7,967 | 11,597 |
| | 33.7% | 66.3% | 100.0% | 31.0% | 69.0% | 100.0% | 31.3% | 68.7% | 100.0% |
| 2020年 | 482 | 675 | 1,157 | 2,211 | 5,613 | 7,824 | 2,693 | 6,288 | 8,981 |
| | 41.7% | 58.3% | 100.0% | 28.3% | 71.7% | 100.0% | 30.0% | 70.0% | 100.0% |
| 2021年 | 505 | 967 | 1,472 | 2,634 | 6,353 | 8,987 | 3,139 | 7,320 | 10,459 |
| | 34.3% | 65.7% | 100.0% | 29.3% | 70.7% | 100.0% | 30.0% | 70.0% | 100.0% |

注：各年次の上段は利用量、下段は集荷量計に占める割合

木材チップにおける森林認証材の利用状況の推移

【国産材】

- 2014年～2021年における国産材の木材チップにおける森林認証材の利用状況は下表のとおり
 - 2021年においては森林認証材は利用されていない
 - 2014年～2020年において針葉樹と広葉樹を合わせて森林認証材は4%程度で推移（ほとんどが針葉樹）

木材チップにおける森林認証材等の利用状況（国産材）

単位：千BDT

| 年次 | 針葉樹 | | | 広葉樹 | | | 合計（針葉樹＋広葉樹） | | |
|-------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|-------------|--------|--------|
| | 森林認証材 | その他 | 集荷量計 | 森林認証材 | その他 | 集荷量計 | 森林認証材 | その他 | 集荷量計 |
| 2014年 | 198 | 3,354 | 3,552 | 4 | 1,354 | 1,358 | 202 | 4,708 | 4,910 |
| | 5.6% | 94.4% | 100.0% | 0.3% | 99.7% | 100.0% | 4.1% | 95.9% | 100.0% |
| 2015年 | 185 | 3,231 | 3,416 | 3 | 1,343 | 1,346 | 188 | 4,573 | 4,762 |
| | 5.4% | 94.6% | 100.0% | 0.2% | 99.8% | 100.0% | 3.9% | 96.0% | 100.0% |
| 2016年 | 192 | 3,254 | 3,446 | 2 | 1,320 | 1,322 | 194 | 4,573 | 4,767 |
| | 5.6% | 94.4% | 100.0% | 0.2% | 99.8% | 100.0% | 4.1% | 95.9% | 100.0% |
| 2017年 | 209 | 3,259 | 3,468 | 3 | 1,274 | 1,277 | 212 | 4,533 | 4,745 |
| | 6.0% | 94.0% | 100.0% | 0.2% | 99.8% | 100.0% | 4.5% | 95.5% | 100.0% |
| 2018年 | 203 | 3,188 | 3,391 | 1 | 1,169 | 1,170 | 204 | 4,357 | 4,561 |
| | 6.0% | 94.0% | 100.0% | 0.1% | 99.9% | 100.0% | 4.5% | 95.5% | 100.0% |
| 2019年 | 185 | 3,129 | 3,314 | 0 | 1,180 | 1,180 | 185 | 4,309 | 4,495 |
| | 5.6% | 94.4% | 100.0% | 0.0% | 100.0% | 100.0% | 4.1% | 95.9% | 100.0% |
| 2020年 | 167 | 2,860 | 3,027 | 0 | 1,030 | 1,030 | 167 | 3,890 | 4,057 |
| | 5.5% | 94.5% | 100.0% | 0.0% | 100.0% | 100.0% | 4.1% | 95.9% | 100.0% |
| 2021年 | 0 | 3,070 | 3,070 | 0 | 970 | 970 | 0 | 4,040 | 4,040 |
| | 0.0% | 100.0% | 100.0% | 0.0% | 100.0% | 100.0% | 0.0% | 100.0% | 100.0% |

注：各年次の上段は利用量、下段は集荷量計に占める割合